

市報 やまぐち

2015

2/1

February
No.224

Web サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
e-mail koho@city.yamaguchi.lg.jp

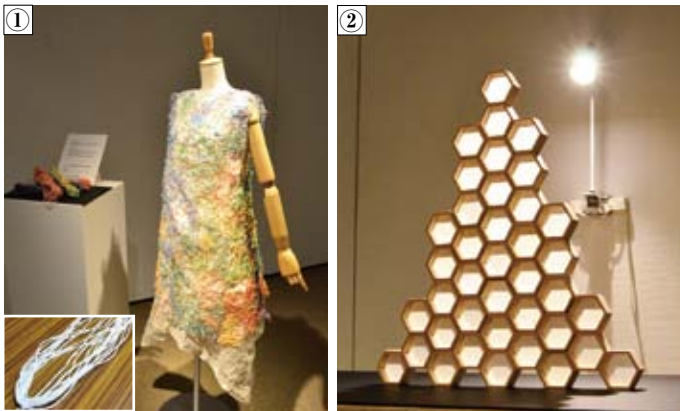


第28回全国健康福祉まつり大会
ねんりんピックおいでませ!山口2015
平成27年10月17日(土)~20日(火)

徳地の和紙産業

P.2

“移動も楽しく” 公共交通を利用しよう！



- ①県立美術館で行われた展覧会では結の香の会員が作った和紙糸（写真左下）で編まれた衣服の他、靴紐やネクタイなども並んだ。
- ②木のおもちゃ作家重田秀徳さん（徳地・重田木型）が作った木と和紙が融合したオブジェクト。
- ③和紙のある暮らしが体感できるカフェを3月にオープンする結の香の会員江藤さん（中央）。
- ④昨年12月にはブランドロゴの検討がされた。（各頁上部参照）

シヨップがきっかけで生まれた作品などが展示され、和紙のもつ新たな可能性を見る事ができました。

また、徳地和紙の独自性の創出や魅力の発信を図ろうと、マリメッコ（フィンランドのアパレル企業）の数少ない日本人デザイナー大田舞さん（県立大学出身）や、ブランドデザイナー原田圭祐さんらに開発を依頼し、徳地地域のブランドデザインと徳地和紙のブランドロゴの検討をされています。

今後、徳地和紙でできた商品のパッケージにこのロゴを入れたり、デザインを用いた商品開発など、徳地和紙に付加価値をつける取り組みが行われます。また結の香の会員が、徳地地域内で開くカフェに徳地和紙から生まれた新商品を展示する予定

です。結の香の会員でもありカフェをオープンする江藤さんは「徳地和紙を生活の一部として実感してもらえれば」と話していました。

■**後継者の発掘・育成**

結の香の活動により、徳地和紙の振興が進む一方で、高齢化の波は着実に押し寄せています。

こうした中、市では、徳地地域の使わなくなった施設を有効活用し、商品開発や和紙漉きの技術継承を行う拠点作りを進めています。今後、和紙での生業づくりを目指す徳地手漉き和紙職人の新たな担い手を受け入れ、徳地和紙ブランドの確立と共に、伝統文化を継承できる仕組み作りに取り組んでいきます。



徳地の和紙産業

昨年11月、日本の手漉き和紙技術がユネスコの無形文化遺産に登録された。徳地に古くから伝わる「和紙」にスポットを当てる。

岡山県徳地地域活性化推進室 ☎0863-6364-2778

■約800年続く徳地の和紙

徳地手漉き和紙は、室町時代から続く歴史を誇り、その技術は高く、日本有数の手漉き和紙として評価されており、市の無形文化財にも指定されています。

しかし、洋紙の普及・和紙製作の機械化と、高齢化により職人が減少し、現在では、和紙漉きを行う農家が2軒のみとなり、徳地和紙産業の持続が困難な状況になっています。このような状況を打破するため、市では総務省交付金事業を活用して徳地和紙の振興に取り組んでいます。

■「結の香」の立ち上げ

プロジェクトチーム「山口とくち和紙振興会結の香」への支援もそのひとつ。結の香は、徳地和紙を市内外に広く伝え、後世につなげていく事を目的に、徳地手漉き和紙の技術保持者や原料生産者をはじめとして、地域の方々が中心になって昨年発足。徳地和紙の振興やブランド化を図るため、原料生産地の拡大、生産者の創出やイベントでの和紙のPRなどと共に、山口県立大学やデザイナーなどとの連携により、和紙本来の質感と

新たなデザインが融合したアート和紙などの商品開発を始めました。

■和紙に新たな可能性を

昨年10月には、オランダ人で高知県に在住の和紙デザイナーを招き、和紙の新たな活用方法を見いだすワークショップを開催。ワークショップには、県立大学の学生など若い世代も参加し、「和紙の柔らかな質感を生かしたネクタイは作れないか」といった、斬新なアイデアが出るなど活発な意見が交わされました。

そして昨年12月には、県立大学と市の共同により、徳地和紙をテーマにした作品の展覧会を実施。ワーク



徳地和紙を活用した商品開発についての会議の様子。

伝え残したい宝物、手漉き和紙

日本の和紙の起源は、中国で生まれた「紙漉き」技術が伝わってきたことに始まると言われてます。そして日本の和紙は、書や家具、服など、私たちの生活の中で必要とされ、発展してきました。

手漉き和紙は、コウゾやミツマタ、ガンピを原料に作られています。繊維が長く光沢のあるコウゾは、ちり紙や半紙、障子紙などに用いられ、繊維が短く堅いミツマタは、主に紙幣や賞状用紙に用いら

れてきました。この他近年では、祭事やおもてなしの場等での使用に欠かせない物となっています。

昨年11月に、日本の手漉き和紙技術がユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。これは、コウゾの栽培から技術の指導、新たな製品の創作など、工芸技術の存続を地域のコミュニティが担い、社会的な結びつきを育んでいる事が評価されたものです。

このように和紙は、日本が育て、守ってきた文化遺産です。徳地の和紙産業も後世に受け継いでいかなければならない、古来からの大切な宝物です。

【徳地和紙】
強靱でしなやかさを誇り、脈々と受け継がれてきた伝統工芸品

市民 1 人当りに使われるお金は

39 万 1,750 円

【内訳】

民生費

児童、高齢者、社会全体の福祉のために

11 万 8,141 円

総務費

市の運営や地域の振興のために

6 万 6,452 円

土木費

道路や公園の整備などのために

5 万 3,635 円

教育費

学校、社会教育のために

3 万 2,212 円

衛生費

生活環境の充実のために

2 万 8,465 円

農林水産業費

農林水産業の振興のために

1 万 3,318 円

公債費

市債の償還のために

4 万 7,646 円

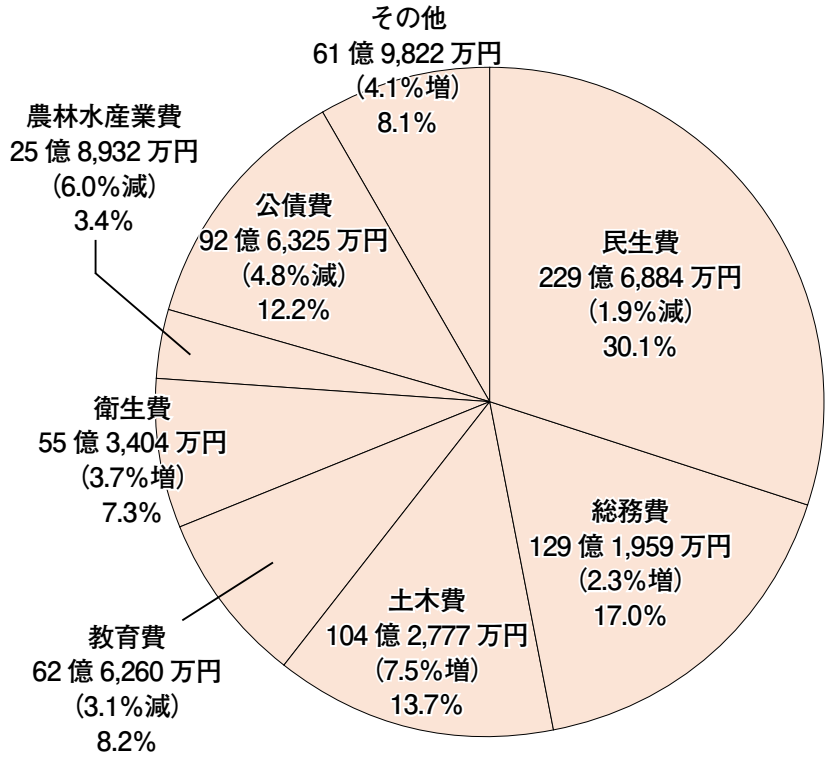
その他（議会費、災害復旧費、労働費など）

3 万 1,881 円

一般会計歳出総額

761 億 6,363 万円

前年度比 0.2% 増



【表 2】市債の状況

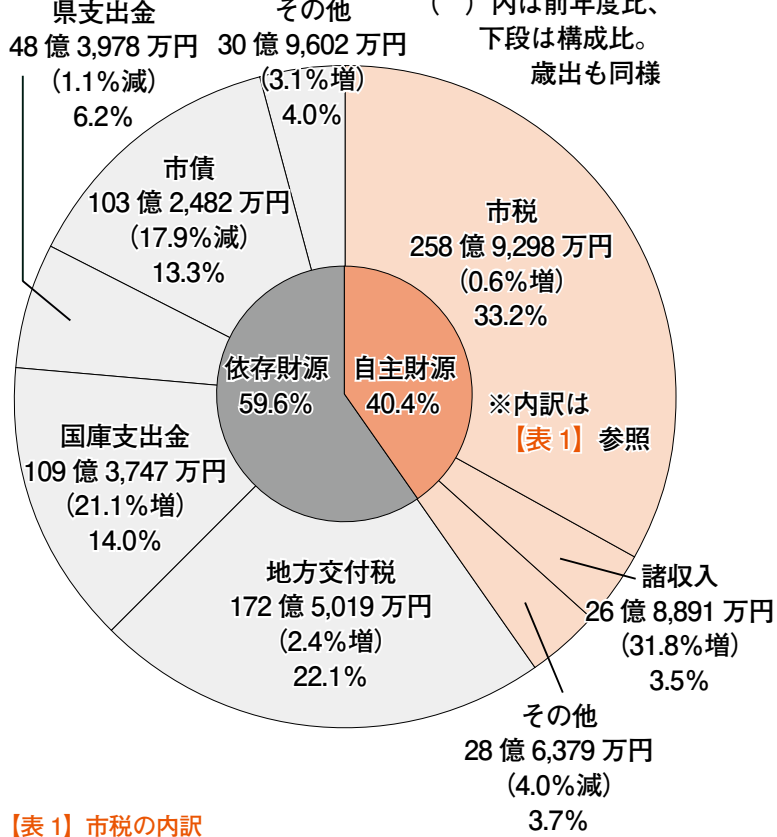
区 分	平成 25 年度末 現在高	市民 1 人当たり 現在高
一 般 会 計	926 億 4,450 万円	47 万 6,520 円
特 別 会 計	54 億 4,426 万円	2 万 8,003 円
合 計	980 億 8,876 万円	50 万 4,523 円
年 度 末 現 在 高 に 対 す る 利 息	88 億 8,433 万円	4 万 5,697 円

※利息については、利率見直し等により変動します。

一般会計歳入総額

778 億 9,396 万円

前年度比 1.1% 増



【表 1】市税の内訳

税 目	平成 25 年度 決算額	市民 1 人当たり 金額	構成比 (%)	前年度比 (%)
個 人 市 民 税	94 億 3,057 万円	4 万 8,507 円	36.4	0.0
法 人 市 民 税	26 億 8,595 万円	1 万 3,815 円	10.4	2.9
固 定 資 産 税	104 億 9,228 万円	5 万 3,967 円	40.5	△0.9
軽 自 動 車 税	4 億 2,063 万円	2,164 円	1.6	1.7
た ば こ 税	13 億 965 万円	6,736 円	5.1	12.1
鉱 産 税	4 万円	0 円	0.0	33.3
入 湯 税	8,367 万円	430 円	0.3	2.0
都 市 計 画 税	14 億 7,019 万円	7,562 円	5.7	0.9
合 計	258 億 9,298 万円	13 万 3,181 円	100.0	0.6

市民 1 人当りに換算すると

40 万 650 円

市が自ら調達できる収入
(自主財源)

16 万 1,742 円

市税 13 万 3,181 円

諸収入
預金利子や市が融資した
貸付金の返済金など

1 万 3,831 円

その他（分担金、負担金、
使用料、手数料、財産収入、
寄附金、繰入金、繰越金）

1 万 4,730 円

国や県を経由する収入（依存
財源）23 万 8,908 円

地方交付税
市町村間の財源の均衡を図
るため、国が交付するお金

8 万 8,727 円

国庫支出金 一定の事業に
ついて、国が負担するお金

5 万 6,257 円

県支出金 一定の事業につ
いて、県が負担するお金

2 万 4,894 円

市債 市の借金

5 万 3,106 円

その他（地方譲与税、交付
金等）

1 万 5,924 円

平成 25 年度

決算報告

市民 1 人当たりいくら？

平成 25 年度の決算が、昨年 12 月の平成 26 年第 6 回市議会定例会（11 ページ参照）で認定されました。そこで、平成 25 年度の歳入歳出の実績について、市民 1 人当たり置き換えてお知らせします。

■ 問い合わせ 財政課 ☎ 083・934・2750

※市民 1 人当たりの換算額は、平成 26 年 3 月 31 日現在の人口 19 万 4 千 4 百 19 人を基に算出

一般会計

一般会計とは、市税などを主な財源に、道路・公園の建設や福祉、医療、教育など、まちづくりに関する事業を行うための中心的な会計です。

【歳入 1.1% 増 歳出 0.2% 増】

実質黒字 約 7 億 2,256 万円

平成 25 年度の決算額は、平成 25 年度当初予算額 7 億 6 千 3 万 9 千 6 万円に対し、歳入が 7 億 7 千 8 万 9 千 3 万 9 千 6 万円、歳出が 7 億 6 千 1 万 6 千 3 万 6 千 3 万円となりました（対前年度伸び率は、歳入 1.1% の増、歳出 0.2% の増）。

歳入から歳出を差し引いた 1 億 3 千 0 万 3 千 3 万円から、平成 26 年度へ繰り越した 10 億 7 千 7 万 7 千 7 万円を差し引いた 7 億 2 千 2 万 5 千 6 万円が、実質的な黒字になりました。

歳入

【市税 1 億 5 千万円増、市債 22 億円減】

市税は、地価の下落により固定資産税が減収となっているものの法人市民税やたばこ税の増により、前年度と比べ約 1 億 5 千万円増の 2 億 5 千 8 万 9 千 2 万 9 千 8 万円になりました。

地方交付税は、生活保護費関係費や社会福祉関係費などの社会保障関係費の増などにより、約 4 億円増の 1 億 7 千 2 億 5 千 0 万 1 千 9 万円に、国庫支出金は、地域経済活性化・雇用創出臨時交付金その他、新山口駅ターミナルパーク整備に係る社会資本整備総合交付金などにより、

約 19 億円の前年度と比べ約 3 億 7 千 4 万 7 千 円になりました。

また、市債は、消防救急デジタル無線設備更新事業費や創造的歴史公園整備事業費の減などにより、約 22 億円減の 1 億 3 千 2 億 4 千 8 万 2 千 2 万円になりました。

歳出

【繰り上げ償還により

市債償還額は着実に減少】

民生費は、国民健康保険特別会計繰出金などにより、前年度と比べ約 5 億円減の 2 億 2 千 9 億 6 千 8 万 4 千 4 万円になりました。

土木費は、新山口駅ターミナルパーク整備事業などにより、前年度と比べ約 7 億円増の 1 億 4 千 2 億 2 千 7 万 7 千 7 円になりました。その他は、阿東地域を中心とした豪雨災害により災害復旧費が増加しており、前年度と比べ約 2 億円増の 6 億 9 千 8 億 2 千 2 万 2 千 2 円になりました。このほか、公債費は、市債の公的資金補償金免除繰上償還の実施などにより、償還額は着実に減少しており、長期債元利償還金の減により、決算額は前年度と比べ約 5 億円減の 9 億 2 千 6 億 3 千 2 万 5 千 円になりました。

※今後、貸し手に支払う予定であった利子相当額に対する補償金の支払いが免除される繰り上げ償還の制度を利用し、後年度の利子負担を大幅に軽減しています。

・平成 25 年度市税の決算内訳は【表 1】の通りです。

・平成 25 年度末の市債（借金）の状況は【表 2】の通りです。

市の財政ってどうなってるの？

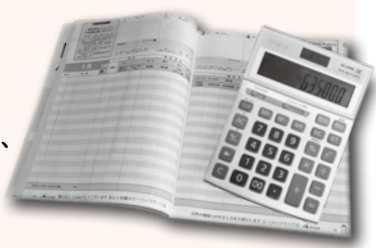
山口市の台所事情 ～家計の 1 カ月分に例えると～

平成 25 年度決算を分かりやすくするために、山口家（サラリーマンのお父さん、パート勤めのお母さん、2 人の子ども）の家計に置き換えて考えてみましょう。

1 カ月分の金額は、25 年度普通会計（※）の決算額の 1 万分の 1 を 12 で割って算出し、千円単位で四捨五入。（ ）内は 25 年度決算額

※普通会計とは、地方公共団体間の財政比較のため、地方財政統計上で統一的に用いられている会計区分です。

本市の普通会計には、一般会計、小郡駅前第三土地区画整理事業特別会計（一部）、地域下水道事業特別会計、特別林野特別会計が含まれます。



収入		支出	
給料	21 万 6,000 円 ① (市税 258 億 9,298 万円)	食費・税金・社会保険料	11 万 1,000 円 ㉑ (人件費 133 億 263 万円)
家賃収入	3 万 8,000 円 ② (使用料・手数料等 45 億 8,726 万円)	医療費・養育費	11 万 2,000 円 ㉒ (扶助費 134 億 1,832 万円)
パート収入	3 万円 ③ (地方譲与税、交付金等 36 億 3,645 万円)	光熱水費・電話代等	7 万 3,000 円 ㉓ (物件費 86 億 9,891 万円)
親などからの協力・援助	31 万円 ④ (地方交付税、臨時財政対策債、国・県支出金等 372 億 1,479 万円)	子どもへの仕送り	5 万 5,000 円 ㉔ (繰出金 66 億 3,537 万円)
貯金の利子	2,000 円 (財産収入 2 億 100 万円)	町内会費、サークルや会合の会費	7 万 1,000 円 ㉕ (補助費等および出資・貸付金 85 億 6,004 万円)
自宅増改築等のための借入れ	5 万 3,000 円 (市債〔臨時財政対策債を除く〕 63 億 210 万円)	ローンの返済	7 万 7,000 円 ㉖ (公債費 92 億 8,178 万円)
貯金の取り崩し	1,000 円 (基金繰入金 6,572 万円)	自宅・借家の増改築、家電購入等	12 万 4,000 円 (普通建設事業費、維持補修費等 148 億 8,514 万円)
		貯金	1 万 2,000 円 (積立金 13 億 8,532 万円)
収入合計 65 万円 (合計 779 億 30 万円)		支出合計 63 万 5,000 円 (合計 761 億 6,751 万円)	

家計に例えると

給料などに加えて、親からの協力・援助を活用して家計を賄っています。

支出を見ると、食費、医療費・養育費、光熱水費といった生活費が 29 万 6,000 円（㉑＋㉒＋㉓）、子どもへの仕送りが 5 万 5,000 円（㉔）、町内会費やサークル等の会費が 7 万 1,000 円（㉕）、ローンの返済が 7 万 7,000 円（㉖）あり、これらを合わせて毎月必要な支出は 49 万 9,000 円になっています。一方収入を見ると、給料や家賃収入を合わせて 25 万 4,000 円（①＋②）ありますが、これだけでは毎月の支出金額を賄うことができません。このため、毎月のパート収入 3 万円（③）や親からの協力・援助 31 万円（④）を活用してやりくりをしています。なお、

毎月の残金と借入金等により、自宅や借家の増改築、家電購入等を行っています。

- 今後の見通しと取り組み -

将来の財源不足に備えて行財政改革を推進

現状では、財源不足を補うような基金の取り崩しは行っていませんが、合併による国からの財政支援措置が終了する平成 32 年度には、財源不足が生じる見通しとなっています。

市では、このような財政状況を踏まえ、「市財政運営健全化計画」を策定し、改めて歳入・歳出の両面から行財政改革により、持続可能で自立した財政基盤の確立を目指した取り組みを進めています。

「山口市の台所事情」や「市財政運営健全化計画」など、詳しくは市ウェブサイトに掲載（「山口市 財政」で検索）

平成25年度の主な事業

- 総合計画の 8 つの政策に沿ってお伝えします。
- ① 支えあい健やかな暮らしのできるまち
私立保育園の整備費助成、児童クラブの整備を進めました。
 - ② いきいきと子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化をはぐくむまち
山口情報芸術センター「YCAM」10 周年記念事業を開催しました。また、小・中学校の校舎等の耐震化に向けた整備を進めました。
 - ③ 安心・安全な暮らしのできるまち
デジタル防災行政無線整備に向けた実施設計を行いました。
 - ④ 自然環境と調和した暮らしのできるまち
住宅用太陽光発電の普及促進を図りました。
 - ⑤ 機能的な都市基盤が整い、発展していくまち
新山口駅ターミナルパーク整備事業では、南北自由通路、橋上駅舎の整備を進め、一部供用を開始しました。また、中心市街地の活性化や広域観光拠点としての湯田温泉地区の環境整備を進めました。
 - ⑥ 市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち
企業誘致、海外からの観光誘客、農林水産業の担い手支援を行いました。
 - ⑦ ともに力をあわせてつくるまち
阿東地域交流センターの供用を開始しました。また、「山口市地域づくり支援センター」を設置し、地域の活動支援を行いました。
 - ⑧ 市民の信頼に応える行政運営
山口市総合計画後期まちづくり計画がスタートしました。

【表 3】特別会計歳入歳出決算概要

区 分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比	1 人当たり歳出金額
国民健康保険	202億8,922万円	△2.8%	195億7,037万円	△4.5%	10 万 661 円
後期高齢者医療	25億509 万円	△0.7%	24 億9,300 万円	△0.6%	1 万 2,823 円
介護保険	150億8,513万円	3.2%	149億3,109万円	3.2%	7 万 6,799 円
介護サービス事業	5,727 万円	4.5%	5,002 万円	3.5%	257 円
駐車場事業	5,926 万円	△1.6%	3,846 万円	△6.5%	198 円
小郡駅前第三土地区画整理事業	8,208 万円	△76.9%	8,208 万円	△76.9%	422 円
簡易水道事業	4 億5,768 万円	37.8%	4 億4,609 万円	37.2%	2,294 円
農業集落排水事業	5 億3,252 万円	7.5%	5 億3,252 万円	7.5%	2,739 円
漁業集落排水事業	1,536 万円	△2.7%	1,536 万円	△2.7%	79 円
地域下水道事業	601 万円	21.7%	601 万円	21.7%	31 円
国民宿舎	3,734 万円	△34.4%	3,734 万円	△34.4%	192 円
特別林野	922 万円	30.6%	677 万円	51.5%	35 円
合 計	391 億3,618 万円	△0.9%	382 億911 万円	△1.7%	19 万 6,530 円

特別会計は、国民健康保険や介護保険など、特定の目的のため事業を行う場合に、保険料など特定の収入をその支出に充てるため、一般会計と区別して経理するものです。

平成 25 年度特別会計の歳入歳出決算は【表 3】の通りです。

特別会計

山口市の財務諸表への取り組み状況について

従来の国や地方公共団体の会計制度は、単式簿記・現金主義といわれるもので、現金の出し入れが分かりやすい反面、これまでに形成してきた資産の状況（ストック情報）や、行政サービスを提供するために必要としたコストの状況（コスト情報）を表すことができませんでした。

そこで、本市では「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の財務書類を作成し、「ストック情報」や「コスト情報」がわかるように公表しています。

例えば「貸借対照表」からは、本市が整備してきた建物や公園、道路等の社会資本の状況やこれらを形成するために借り入れた負債の状況など（ストック情報）が把握できます。

※財務書類等の詳細については、市ウェブサイトまたは各総合支所市政情報コーナー等でご覧いただけます。

貸借対照表

平成 25 年度決算（普通会計ベース）

将来の世代へ引き継ぐ資産

公共資産 2,728 億円
公園・道路・学校・救急車など

+

投資等 261 億円
出資・基金など

+

流動資産 97 億円
現金や 1 年以内に現金化できる資産

資産合計 3,086 億円

将来の世代が負担するお金

固定負債 972 億円
市債・退職手当引当金など、翌々年度以降に支払う予定のお金

流動負債 102 億円
翌年度に支払う予定のお金

+

これまでの世代が既に負担したお金

純資産 2,012 億円
将来の世代が負担することなく引き継ぐことができる資産

負債・純資産合計 3,086 億円

ごみ処理の現状

平成25年度の実績を基に、市民の皆さんにご協力いただいているごみの減量・分別などによるごみ処理の状況をお伝えします。

問い合わせ 資源循環推進課 ☎083・941・2173



ごみの量はほぼ横ばい
ごみ処理経費は減少

平成25年度のごみの量は7月28日の豪雨災害による災害廃棄物の発生等により、前年度より約600ト増加し、約7万6千トとなりました。

また、ごみの収集や、焼却・中間処理・埋め立てに掛かった経費は、人件費や処理施設建設の減価償却費および起償償還利子を含め、約27億8千万円（前年度より約1億4千万円の経費削減）でした。

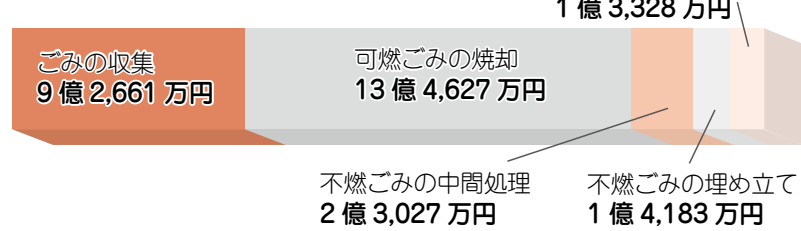
生ごみの水切りに ご協力ください

家庭から出されるごみの多くを占める生ごみは、約8割が水分であるといわれており、水分が多いと焼却に大量の燃料を必要とします。生ごみをごみ袋に入れられる際には、しっかり水切りを行っていただき、経費削減等のご協力をお願いします。



【ごみ処理経費】合計 27 億 7,826 万円

※平成24年度は29億1,776万円



市民1人当たりで見ると…

() 内は平成24年度

ごみの量 … 1日当たり 1,093g (1,084g)
ごみ処理経費 … 年間で約1万4,200円 (約1万4,900円)



分別等により新たな資源に生まれ変わっています

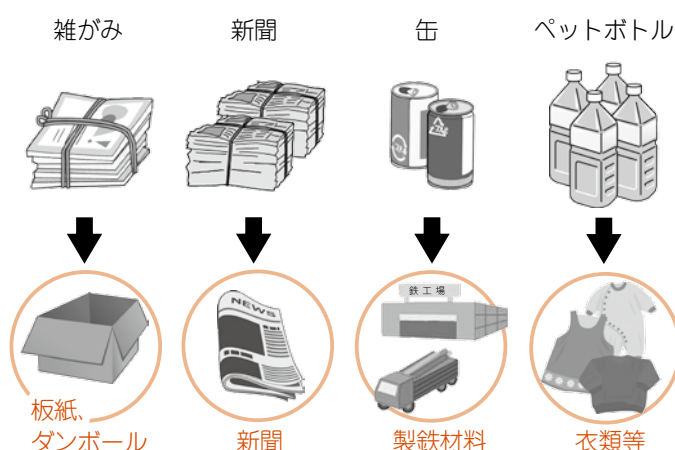
市民の皆さんに分別していただき、市が収集して売却した主な資源物（上段と、不燃ごみ・粗大ごみを中間処理し、資源として回収したもの（下段）は左記のとおりです。売却、回収したものは、再生品として生まれ変わり、私たちの生活に役立てられています。

売却した主な資源物（売払金額（売払量））

回収した資源（売払金額（回収量））

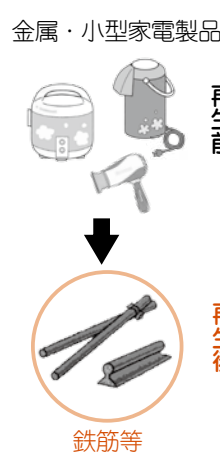
- ペットボトル 1,408 万円 (403t)
- アルミ缶 3,140 万円 (219t)
- スチール缶 639 万円 (197t)
- 新聞 2,623 万円 (2,302t)
- 雑がみ 1,871 万円 (1,645t)

- 破碎鉄 不燃ごみの破碎・選別処理によって回収し、売却した鉄 545 万円 (181t)
- 破碎アルミ 不燃ごみの破碎・選別処理によって回収し、売却したアルミ 322 万円 (38t)
- 金属・小型家電製品 金属・小型家電製品として収集、または持ち込まれたものの売却 3,194 万円 (1,362t)



！「自分1人が取り組んでも 変わらない」は間違いです

皆さんの分別等の取り組みなどにより、ごみ処理経費は平成21年度以降、減少し続けています。一人ひとりの分別量はわずかでも、市民の皆さんにご協力していただくことで、大きな成果につながります。今後も分別等の取り組みにご理解とご協力をお願いします。



市政トピックス

「平成26年第6回市議会定例会」を開催

12月1日～18日の間、「平成26年第6回市議会定例会」を開催しました。

市長は、まず污水管施設工事の入札に関する本市職員の不祥事について陳謝し、今後二度とこのような事態を招かないよう再発防止策に取り組み、市民の皆様



定例会の様子

の信頼を一日でも早く回復できるよう全力で努めていくと述べました。

このほか、やまぐち車座トーク21の開催、井上公園の整備、企業立地、

教育委員会委員長が選出されました

12月19日、市教育委員会定例会で大野嘉香氏が教育委員会委員長に選出されました。任期は、平成27年12月22日までです。

教育委員会は、教育行政の安定性や中立性の確保を目的とした、教育行政の方針などの重要事項を決定する合議制の機関です。山口市教育委員会は7

レノファ山口FCのJ3入会について市政の概況を報告しました。また、市長から平成26年度山口市一般会計補正予算や湯田温泉観光回遊拠点施設設置および管理条例、住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例、指定管理者の指定について、教育委員会の委員の任命についてなど計57の議案が上程されました。審議の結果、すべて原案どおり可決・承認されました。

市議会事務局

☎083・934・2854

人の委員で構成され、委員は市長が議会の同意を得て任命しています。



大野委員長

「全日本マーチングコンテスト中学の部」で金賞を受賞

12月18日、「第27回全日本マーチングコンテスト中学の部」で金賞を受賞した、小郡中学校吹奏楽部の生徒さんが、市長を表敬訪問しました。

このコンテスト

は、11月に大阪市で開催されたもので、地方予選を勝ち進んだ全国各地の23校が出場。小郡中学校からは生徒54人が出場しました。



市長に受賞を報告する小郡中学校吹奏楽部の生徒さん

文化政策課 ☎083・934・2718

「木質ペレットストーブ」を十種ヶ峰ウッドパークに設置

1月14日、十種ヶ峰ウッドパーク「スキー場ロッジ」に木質ペレットストーブを設置しました。これは、農林中央金庫岡山支店の「木質ペレットストーブ寄贈事業」により、本市に寄贈いただいたものです。

農林中央金庫岡山支店の村田副支店長は「間伐材等から生産した木質ペレットの普及により、森林整備の促進、地球温暖化防止や循環型社会の構築に

貢献していきたい」と話されました。市では、今後も環境にやさしいまちづくりを、観光振興の推進などと組み合わせて進めていきます。



寄贈式の様子

観光課 ☎083・934・2810

● 山口総合支所	〒753-8650	亀山町2-1	☎083-922-4111
● 小郡総合支所	〒754-8511	小郡下郷609-1	☎083-973-2411
● 秋穂総合支所	〒754-1192	秋穂東6570	☎083-984-2121
● 阿知須総合支所	〒754-1292	阿知須2743	☎0836-654111
● 徳地総合支所	〒747-0292	徳地堀1744	☎0835-521112
● 阿東総合支所	〒759-1512	阿東徳佐中3417-2	☎0833-956-0111

県議会議員一般選挙の 立候補届出説明会

4月12日(日)執行の県議会議員一般選挙の立候補予定者を対象に、立候補届および選挙公営の手続きなどについて、事前説明会を行います。

当日は、立候補届出書などの必要書類を配付しますので、関係者は必ず出席してください。

■日時 3月6日(金)14時～16時

■場所 市役所別館 第1会議室(中央五丁目14・22)

☎0833-934-2887

中心市街地活性化 シンポジウム

中心市街地における密集地の防災性や安全性の向上を図るため、学識経験者等による住環境の改善に関するシンポジウムを開催します。(無料・申込不要・先着150人)

■日時 2月8日(日)13時30分～16時

■場所 中市「ミニティホールNaC(中市町3・13)」

街歩きプロジェクト 「やまぐち維新さんぽ」

内容 岡田昭人氏(早稲田大学都市・地域研究所 招聘研究員)による講演「中心市街地における住環境の改善に向けて」/シンポジウム「協働によるまちづくりで共同のまちづくり」

■中心市街地活性化推進室

☎0833-934-2693

①久坂deカフェ

大河ドラマ「花燃ゆ」に登場する久坂玄瑞など、維新の志士ゆかりの地「十朋亭」を中心に、一の坂川や豎小路周辺の街歩きを楽しんでいただく「やまぐち維新さんぽ」をスタートします。



特別メニューの一例

②維新deコスプレ

「久坂玄瑞」と「高杉晋作」をイメージ

小郡・徳地図書館 休館のお知らせ

※詳細はお問い合わせください。

トワーク(火曜休み)

☎0833-9200-9220

■場所 旧萬代家離れ(下豎小路109)

■日時 2月21日(土)10時～12時

■開始日 2月21日(土)から

■場所 ①は各店舗、②③は大路口

■ビエ(大坂大路133-1)

◆いずれも

※5月17日(日)まで/観覧無料

③久坂玄瑞常用湯呑展

幕末の京都で作られた久坂の湯呑み(本物)と、現代の京都の清水焼の名工が作った複製品を展示します。

料・子ども用有り)

ジした衣装の貸し出しを行います。(有

知的書評合戦 「ビブリオバトル」

小郡・徳地図書館を休館します。休館中の本の返却は、小郡図書館は玄関横、徳地図書館は玄関に設置しているブックポストをご利用ください。

■休館期間 小郡図書館…2月3日

(火)～11日(水・祝)/徳地図書館…2月16日(月)～23日(月)

■小郡図書館

☎0833-973-0098

徳地図書館

☎0835-520-0043

本を紹介しあうゲーム「ビブリオバトル」を観戦しませんか。

今回のテーマは「歴史」です。観戦者にはチャンプ本(優勝本)を決める

投票権があります。申込は不要ですが、

開始5分前にお集まりください。

■日時 2月14日(土)14時～15時30分

■場所 山口情報芸術センターワーク

■中央図書館友の会「トネリコ」事務局中村さん

☎0833-9200-0311

※詳細はお問い合わせください。

花燃ゆ♪クラシック観覧者募集

NHK 山口放送局と山口市では、大河ドラマ「花燃ゆ」をテーマに「花燃ゆ♪クラシック」を実施します。このコンサートでは、ドラマ出演者による撮影舞台裏トークに加え、NHK 交響楽団メンバーや、萩市にある『日本最古のピアノ』の演奏で、ドラマのテーマ曲や幕末志士たちが生きた19世紀の音楽などをお楽しみいただきます。観覧をご希望の方は次の要領でお申し込みください。



日時 3月7日(日) 13時45分～16時30分
会場 市民会館大ホール 中央2丁目5-1

市民会館大ホール

申込方法

入場は無料ですが、入場整理券(1枚で2人入場可)が必要です。郵便ハガキまたは、NHK山口放送局のホームページでお申し込みください。

【記入事項】①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号

あて先	〒753-8660 山口市中園町2-1 NHK山口放送局「花燃ゆ♪クラシック」係
締め切り	2月17日(火)必着
ホームページ	http://www.nhk.or.jp/yamaguchi/

問い合わせ 観光課 ☎083-934-2810 NHK山口放送局「花燃ゆ♪クラシック」係 ☎083-921-3733
主催 NHK山口放送局 山口市 協力 財団法人 熊谷美術館

出演 川井 憲次 作曲家
「花燃ゆ」音楽担当
日本最古のピアノ
無断転載禁止(熊谷美術館)

【演奏】NHK 交響楽団メンバー(6人)、小倉貴久子(フォルテピアノ)
※大河ドラマ出演者も出演予定です。
詳しくはNHK山口放送局のホームページなどで発表します。

- * 未就学児は入場できません。
- * お申し込みは、お1人様1件に限らせていただきます。複数お申し込みいただいても、1件として取り扱いします。
- * 応募多数の場合は抽選のうえ、郵便ハガキでお申し込みの方には、当選・落選の結果を2月24日(火)頃に発送します。発送予定日から1週間経過してもハガキが届かない場合は、お手数ですが以下の問合せ先までご連絡ください。
- * インターネットオークション等での転売を目的としたお申し込みは固くお断りします。
- * 応募の際にいただいた情報は、抽選結果の連絡のほか、NHKでは受信料のお願いに使用させていただくことがあります。

近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。
宇部市

0歳から入場できるコンサート「音楽の絵本」

金管五重奏のズーラシアンブラスと弦楽四重奏の弦(つる)うさぎが出演し、動物たちが音楽を奏でる演奏会です。曲目もクラシックだけではなく、アニメや童話まで、親子で楽しめます。

■日時 2月11日(水・祝)14時開演

■場所 渡辺翁記念会館

■料金 一般3,300円、中学生以下2,500円、3歳以下は無料で膝上鑑賞できます(保護者1人につき1人まで)
※前売り券もあります

■問い合わせ 宇部市文化創造財団 ☎0836-35-3355

防府市

節分鬼まつり 第10回 鍋-1グランプリ開催

防長路に春を告げる防府天満宮の節分牛替神事にあわせ、「節分鬼まつり 第10回 鍋-1グランプリ」を開催します。来場者の投票でグランプリを決める「食のイベント」です。

■日時 2月1日(日)11時～14時

■場所 幸せます通り(銀座商店街アーケード)ルルサス防府

■料金 1杯100円～300円程度

■問い合わせ まちづくり防府 ☎0835-22-4930

市内の魅力を紹介します。
山口市

ぶらり維新の策源地2 “大村益次郎”

幕末期の医師で兵学者でもあった大村益次郎は、長州藩兵を指揮して戊辰戦争などを勝利に導き、近代兵制の確立を目指した先覚者として維新の十傑にも数えられる人物です。生誕の地 銚銭司にある銚銭司郷土館には、益次郎の遺品を中心とした資料が展示され、その生涯や功績を伺い知ることができます。

3月には、市南部を舞台に幕末明治維新をテーマにしたフォトロゲイニングが開催されます。維新策源地、山口を巡りながら歴史に思いをはせてみませんか。

【「大村益次郎文書」の特別公開】

■場所 銚銭司郷土館(銚銭司1422)

■開館時間 9時～17時(月曜休館)

■入館料 一般100円、小中学生50円

■問い合わせ 銚銭司郷土館 ☎083-986-2368

【維新フォトログ第2幕 in 山口南部】

■日時 3月22日(日)10時～13時

■集合場所 小郡地域交流センター

■チーム構成 2～5人

■定員 先着100組または250人

■参加費(1人あたり) 一般1,000円、3歳～小学生500円、3歳未満無料(小学生以下は保護者同伴)

■申し込み・問い合わせ 3月4日(水)までに、山口観光コンベンション協会 ☎083-933-0088



在りし日の大村益次郎銅像



とみながよしこ
富永嘉子 さん

山口市楠木町在住。駒子人形の師範。現在は徳地和紙で作った紙人形「紙人」を作製し、県内外の展覧会で展示するなど、徳地和紙の普及にも尽力している。

インタビューの様子は C-able テレビ「発見! やまぐち このまちに愛たい」の中で放送 (2月16日～28日)

「徳地の和紙を広めたい」

徳地和紙で作った人形に命を吹き込み続ける

岡広報広聴課 ☎083・934・2753

■思いを形に

徳地和紙に囲まれた三畳間の部屋から真っ白な人形が生まれている。和紙特有の暖かみのある質感から、血が通っているようだ。楠木町で徳地和紙を使っている「紙人」と呼ばれる紙人形を作っているのは、紙人形作家の富永嘉子さんだ。

富永さんは、28歳の時に駒子人形教室に通い、紙人形の作り方を学んだ。駒子人形は石垣駒子さんが50年ほど前に確立した紙人形の1つで、たくさんのお弟子さんが全国にいる。富永さんもその一人で、師範まで上り詰めたが、10年を区切りに教室を辞めた。

「せっかく和紙で作るのだから、もっと動きのある人間らしい作品を作りたいかった」。富永さんは、人形に針金を入れて細かな動きを作る事で動きを表現する方法を編み出した。しかし必要以上に顔に表情を付けない。「見た人によっていろいろな物語が連想してもらえらるから」と語る。



写真右は駒子人形作り教室に通っていた頃に作製した駒子人形。写真左は富永さんが作製した「紙人」。

■徳地和紙の存続へ

富永さんは徳地和紙しか使用しない。「私の事は知ってもらわなくて良いけど、私の作品を通して徳地和紙の良さを皆さんに知ってもらって、徳地和紙が存続し続けて欲しいから」と徳地和紙にこだわる理由を話す。このコメントの背景には、徳地和紙が衰退している現状への危機感や、今自分が盛り上げなければという心意気があることがうかがい知れる。

富永さんは徳地和紙の窮状の因として、「後継者がいないのは、手間のかかる手漉き和紙の代価と収入が伴わないから」と話す。徳地和紙の存続には「二人でも多くの方に使ってもらうこと。そのために『紙人』を通して徳地和紙の魅力を伝えて、徳地和紙に関心を持って頂きたいと思っている」。富永さんの思いがいつばい詰まった「紙人」が今にも語りかけて来よう。



綿等で身体の骨格を作り、和紙を着せていく。暖かみがあり、躍動感のある一瞬を捉えた作品ができあがる。(写真左)

忙しい朝でも簡単!

ごはん・パンに合うおかず

昨年度、「第8回ぼく・わたしのお料理コンクール」で、小・中学生が考えた、ごはん・パンに合うおかずのうち、入賞作品を紹介します。

■問い合わせ 健康増進課 ☎083-921-2666

冷食の部
小学生

おからっふるサラダ

藤田萌楓さん (平川小5年) の作品 (受賞時の学年)

材料 (4人分)

おから……………200g
すし酢……………20ml
ブロッコリー……1/4 株
玉ねぎ……………1/4 個
きゅうり……………1/4 本
ミニトマト…………4 個
ゆで卵……………1 個
ツナ……………1/2 缶 (40g)
マヨネーズ…………80g
レタス……………4枚



工夫したところ

名前のとおり、おからを使い、カラフルに仕上げたところです。

受賞のポイント

すし酢を使い、塩や砂糖などの調味料を使わずに仕上げたことで、簡単かつおいしく仕上がっていた。おからをたくさん使っているのに口当たりも良い。



審査員

作り方

① おからをフライパンで乾煎りし、温かいうちにすし酢をかけて混ぜておく。



② ブロッコリーは小房に分けてゆでる。玉ねぎ、きゅうりは薄くスライスし塩水にしばらくつけて、しぼる。



③ ミニトマトは6等分のくし形切りにする。ゆで卵は細かく切る。ブロッコリーが大きければ小さくほぐす。



④ ①②③とツナをボウルに入れて、マヨネーズであえる。皿にレタスを敷き、その上にのせる。



表紙写真から
移動も楽しく、

公共交通を利用しよう!

表紙の写真は、防長交通(株)のバス車内の様子です。通院でバスをいつも利用しているというお二人は、通院という共通点から会話がはずみ、それぞれの目的地まで楽しいひとときを過ごしていました。

撮影のため乗車した日は、通院以外にも、買い物や友人と温泉に行く方など、多くの方が利用されており、よくバスを利用するという仁保在住の女性は「高齢者にとつてバスはとても大切な存在。70歳以上は福祉優待バス乗車証が使える、一律料金で気軽にバスを利用できるからありがたい」と話されました。

近年、マイカーの普及により公共交通の利用者が減少していますが、車を利用できない時や運転が難しい高齢者等には、バスや電車といった公共交通機関が必要不可欠です。市では、車に頼りすぎないまちをめざす取り組みとして、2月14日～20日を「市民公共交通週間」とし、公共交通に親しみを持っていたり、この機会に、イベントなどを開催します。この機会に、バスや電車などを利用して出かけしてみませんか。

☎083・934・2729
■問い合わせ 交通政策課



移動中目を離さず子守できるのも公共交通の魅力の一つ

イベントカレンダー

2月3月

※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)				
	「山口市景観写真コンテスト」 応募作品の展示および市民投票(～5日) (白石、小郡、秋穂、阿知須、 徳地、阿東) 都市計画課 (☎ 083-934-2831)	7 (土)	阿知須のひなもんまつり&ぶ ち街角ぎやらりー(～11日) (阿知須) 実行委員会(☎ 0836-65-2129) 【いぐらの館 関連イベント】 南京玉すだれを楽しもう!(7日) 箏コンサート(8日) 阿知須「いぐらの館」 (☎ 0836-65-2403)	14 (土)	市公共交通ふれあいフェスタ (白石) 交通政策課(☎ 083-934-2729)  — 昨年の様子 —
	第7回やまぐち新進アーティスト大賞最終選考ノミネート 作品展(～8日) (大殿) 文化政策課 (☎ 083-934-2717)			15 (日)	全日本実業団ハーフマラソン大会 (吉敷、湯田、白石、大殿、大内) 山口陸上競技協会事務局 (☎ 083-920-6125)
1 (日)	あじすふれあいフェスティバル (阿知須) 阿知須地域交流センター (☎ 0836-65-2022) 	8 (日)	山口県読売駅伝 2015 (小郡、吉敷) 山口陸上競技協会事務局 (☎ 083-920-6125)	20 (金)	市内一斉ノーマイカーデー (市内全域) 交通政策課(☎ 083-934-2729) 
	やわから写真展～時間旅行～ (～8日) (大殿) 山口市菜香亭 (☎ 083-934-3312)	11 (水・祝)	市民ロードレース大会 (秋穂二島) 生涯学習・スポーツ振興課 (☎ 083-934-2874) 	21 (土)	やまぐち維新さんぽ (大殿) 大路ロビー(☎ 083-920-9220) ※21日以降常時実施。詳細は 12ページをご覧ください。
5 (木)				3/7 (土)	市美術展覧会(～15日) (白石) 文化政策課 (☎ 083-934-2717)

まだまだ寒さ厳しい日が続いています。風邪など召されないように体調管理には十分にお気を付けいただきたいと思っています。

さて、1月11日に成人式を開催いたしました。約2000人の皆さんが新成人として、新たな門出を迎えられました。心からお祝いを申し上げます。

成人式は、新たな門出をお祝いすると同時に、これまで支えてくださった家族や地域の方々に感謝し、そして、自分の生まれ育った地域を見つめ直す良い機会であると思います。

今、地域は、人口減少や少子高齢化の進展、人間関係の希薄化など、多くの課題を抱えています。

こうした課題を解決するために、市民の皆さんが知恵と力を結集して課題の解決に取り組んでおられます。

ふるさと山口を「活気」溢れる賑わいのまちにするためには、若い世代の皆さんの力が必要です。新成人の皆さん、若き力で愛する故郷やまぐちを一緒に盛り上げてまいりましょう。



山口市長
渡辺純忠

この広報紙は再生紙を使用しています。
使い終わったら、「新聞紙」として
古紙類の分別収集に出しましょう。

市報やまぐち 2月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町 2-1

編集 総合政策部広報広聴課 ☎ 083-922-4111 (代表) / 印刷 株式会社マルニ